

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病虫害発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病虫害発生予察特殊報第1号

病虫害名 学名：*Rumina decollata* Linnaeus
和名：オオクビキレガイ

- 1 発生作物 こまつなほか軟弱野菜
- 2 発生地域 堺市

3 発生の状況

- (1) 平成30年3月、堺市の軟弱野菜ほ場において、こまつなを食害する陸生貝が確認された。
- (2) この陸生貝について、農林水産省神戸植物防疫所に診断依頼したところ、*Rumina decollata* Linnaeus (オオクビキレガイ) と同定された。
- (3) 本種はスペイン南部・アフリカ北部等地中海沿岸が原産で、国内では昭和63年に福岡県で初確認された後、次第に分布を拡大し、佐賀県、熊本県、大分県、山口県、和歌山県、愛知県、千葉県で生息が確認されている。平成27年度には岡山県、平成28年度には広島県で特殊報が発表された。

4 *Rumina decollata* Linnaeus (オオクビキレガイ) の形態・生態

- (1) 細長い右巻きの巻き貝で(図1)、成熟すると殻頂部が脱落し、円筒形に近くなる。成貝の殻高は30mm程度、殻径は10mm程度で褐色(図1,2)。死貝の殻は白色(図3)となる。
- (2) ほ場隅の植物残渣置き場やコンクリート畦畔沿い・ビニルハウスの裾付近など湿った環境を好むが、乾燥環境にも耐える。
- (3) 夜行性だが曇雨天時には日中でも活動する。冬期は土に潜り越冬する。
- (4) 繁殖期は2月～6月および9月～11月。年間産卵数は約200個、10日～30日程度で孵化し、10ヶ月で成体となる。



図1 幼貝の生体



図2 成貝
(背景の方眼は2cm)



図3 死貝(白化後)

提供：大阪府立環境農林水産総合研究所

5 防除対策

- (1) ほ場周辺やほ場内の除草や植物残渣を除去する。
- (2) 発見したら袋などに集め密閉し処分する。
- (3) 以下の薬剤を使用し防除する。(平成30年5月1日現在)

※「オオクビキレガイ」は「カタツムリ類」に含まれる。(H30.4、FAMICに確認)

薬剤名	作物名	適用病害虫	適用場所	使用量・使用回数	使用方法
スラゴ ナメール フェラモール	ナメクジ類、カタツムリ類、 アフリカマイマイ、ヒメリン ゴマイマイが加害する農作物等	カタツムリ類	温室、ハウス、 圃場、花壇	1～5g/m ² ・ー	ナメクジ類、カタツムリ類、 アフリカマイマイ及びヒメリン ゴマイマイの発生あるいは 加害を受けた場所又は 株元に配置

・ほ場周辺の雑草地・ハウスの周囲では以下の薬剤も使用できる。

・**注意：作物にかからないように土壌表面散布する。**

薬剤名	作物名	適用病害虫	適用場所	使用量・使用回数	使用方法
マイキラー	ナメクジ類、カタツムリ類が 加害する農作物等	カタツムリ類	ほ場周辺雑草 地の生息地	100～200倍、100 ～300L/10a・6回以 内	作物にかからないように土 壌表面散布する。

6 参考文献

- (1) 侵入生物データベース (国立研究開発法人 国立環境研究所)
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70060.html>
- (2) 植物防疫病害虫情報 第43号 (農林水産省 横浜植物防疫所)
http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/attach/pdf/index035_049-8.pdf
- (3) 松隈昭彦・武田悟史(2009): 外来種オオクビキレガイ(軟体動物門腹足綱)の日本での分布状況と移動方法(九州大学総合研究博物館研究報告, (7)35-84)
- (4) 平成29年度愛知県外来種調査結果の概要(愛知県環境部自然環境課)
http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/195505_473673_misc.pdf
- (5) 平成28年1月8日付け 病害虫発生予察特殊報第1号(岡山県病害虫防除所)
- (6) 平成28年6月6日付け 平成29年度病害虫発生予察情報特殊報第1号(広島県西部農業技術指導所)

●Web版大阪府病害虫防除指針

(<http://www.jpnpn.ne.jp/osaka/shishin/shishin.html>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム

(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)